

分科会 感想

⑩ 手をつなぐ

「よし、頑張りよう。」

全国の親の会のことを知りたくて参加しました。みなさんの話と聞くことで「よし、頑張りよう。」と思えます。コロナ禍でけずらした元気をこの2日間でとりもどしたい。
(・ 大分)

1人じゃないんだな

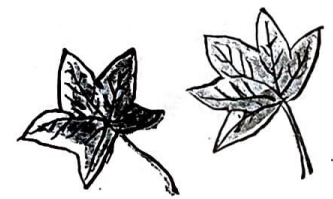
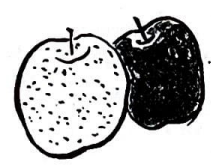
子どもが3年前に不登校になり、きさぐりで今日まで来ました。全国に多くの親の会があり、悩みや課題を持ちつつも活動されていることに勇気もらいました。1人じゃないんだな、と思えました。そして自分も親の会、つながっていいなと思いました。
(・)

大事な課題

親の会の歴史の重みを感じながら、新しい課題に対応できる親の会のあり方と、その担い手(スタッフ)が、会の大事な課題だと再認識しました。明日の話し合いが楽しみです。
(・ 東京)

全国の人と話す

各地での不登校や課題の共通性が共有できました。不登校の子どもを持つ親の様子は、古くて新しい課題でもあると再認識しました。全国の人と直接話して感謝しました。
(・ 山梨)



⑨ 居場所B

明日を楽しみ

当事者の方なら、居場所を立ち上げようとする方なら、居場所を工夫して続けている方など、いろいろな話が聞けてよかったです。明日を楽しみます。
(父母・兵庫)

居場所を続けるために

高祖さんが言われたような愛をもってかわれるような居場所を続けていくためには、ネットワーク、行政の力が必要と感じました。当事者の方の話が励みになったと思います。
(・)

幅広いイメージや課題

参加者の皆さまの「居場所」へのイメージや課題が幅広くて、なかなか議論が深まりにくかったからだからかなと感じました。
(・ 京都)

実は...

速報2号で京都の各地域の会が紹介されていました。実は、南丹、京丹波でも細々と「不登校、ひきこもりを考える会」を月1回、アンダーの会として行っています。
(・)

⑨ 親・家族

もっと学びたい

高校生までの子どもの話だけでなく、小学校から30代の人の話やご家族の様子が聞けてとても勉強になりました。もっと学んでいきたいです。
(政党職員)

人数が多くて...

人数が多すぎて、自己紹介だけで多くの時間を費してしま、たのはとても残念！
2~3つに分かれて行ってほしい。



分科会 感想

見えてきた課題

参加者の皆さまのエピソード、それぞれの個性と、その中でも少し重なるところを感じ、学びが多くなりました。医療につながるまでのプロセス、つながった医療機関の良し悪し、傷つき、利用者同士のぐちの共有、救われたケースなど、ここからの治療、支援のあり方、教育の課題も見えてきたように思う。

(父母、研究者・京都)

⑪ 医療

毎回おもう…

毎回おもうけど…
親はしんどいし…
がんばってるな…って思います。

(・大阪)



備見をもたない

医療にかかわる上で、親が精神科に備見をもたないこと、思い出しました。(父母・兵庫)

⑫ 非行

ピンチがチャンスに

子どもと学校問題は切り離せないと思います。納得のいかないことを引きずらせながら、泣き寝入り(?)するのは絶対によくない。

でも、悪戯に親が出ていくのも違いますね。ピンチがチャンスになるように、(・)

すべての子どもが大切

教育はすべての子どもが通る場なので、すべての子どもが大切にされ、大人になっていける居場所になるといいなと思います。そうすると、非行という形でSOSを出した子もまた自分と向き合っているのかな…… (・沖縄)

⑩ 手をつなぐ

若い世代・人とのつながり

各地のとりくみにうなづいたり、おどろいたり、つづけること、伝へることの大切さとむずかしさを、また改めて思いました。

若い世代のツールは、若い人にまかせない限り、そういうつながりをつくるのも課題です。

(・北海道)

初めての参加

初めての参加です。親の会の運営の様子が知れてよかったです。スタッフ(世話人)の世代交替を課題と覚えています。また組織をどうつくりいかも考えるところ、(親の会世話人・埼玉)



⑧ 居場所B

明日が楽しみ

居場所の勉強のために参加しました。いろいろな事業形態を知りました。明日のミニ講座が楽しみです。(父母、相談員・高知)

新鮮…

短い時間でも、当事者、支援者相手の話が聞けて学びや気づきが多かったです。青年期は初めて聞く話があり、新鮮でした。

活動に生かしていきたいと思っております。(父母・長崎)